

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

<b>事業名</b>	感染症医療人材養成事業			<b>担当部局庁</b>	高等教育局	<b>作成責任者</b>					
<b>事業開始年度</b>	令和2年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	令和3年度	<b>担当課室</b>	医学教育課	医学教育課長 伊藤 史恵					
<b>会計区分</b>	一般会計										
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-			<b>関係する計画、通知等</b>	「成長戦略フォローアップ」(令和2年7月17日閣議決定) 「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」(令和2年12月8日閣議決定)						
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	文教及び科学振興						
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医学部生等を対象に、感染症の特性等を踏まえた診療や感染制御に関する実践的な教育プログラムを構築し、感染症に関する高度な知識を身に付けた医療人材養成を実施。										
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	感染症医療人材養成のため、感染症医療を意識した教育カリキュラム改革を行う大学に対し必要な支援を実施。 【補助率:定額】										
<b>実施方法</b>	補助										
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-				
		補正予算	-	3,750	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	3,750	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	▲ 3,750	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
		計	0	0	3,750	0	0				
	執行額		0	0	3,750						
	執行率 (%)		-	-	100%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-	-	#DIV/0!						
<b>活動内容</b> (アクティビティ)	選定大学を対象に、感染症の特性等を踏まえた診療や感染制御に関する実践的な教育プログラムを構築し、感染症に関する高度な知識を身に付けた医療人材養成を行うための取組を支援する。										
<b>活動目標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込		
	感染症の特性等を踏まえた診療や感染制御に関する実践的な教育プログラムの構築	各大学における教育プログラム構築数	活動実績	件	-	-	38	-	-		
			当初見込み	件	-	-	38	-	-		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	執行額/交付予定大学数			単位当たりコスト	百万	-	-	99	-		
				計算式	/	-	-	3,750/38	-		
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度		
	令和3年度までの感染症医療人材(医療従事者)養成数	各大学が教育した医療従事者の人数  ※全額繰越であるため令和2年度実績なし	成果実績	人	-	-	24,229	-	24,229		
			目標値	人	-	-	22,093	-	22,093		
			達成度	%	-	-	109.7	-	109.7		

根拠として用いた統計・データ名(出典)		成果:各大学への調査 目標値:各大学への調査									
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度		
	令和3年度までの感染症医療人材(医学部生等)養成数	各大学が教育した医学部生等の人数 ※全額繰越であるため令和2年度実績なし	成果実績	人	-	-	30,431	-	30,431		
			目標値	人	-	-	29,413	-	29,413		
			達成度	%	-	-	103.5	-	103.5		
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	4 個性が輝く高等教育の振興									
	施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上	政策評価書 URL	-							
			該当箇所	-							
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-							
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:			-								
該当箇所			-								
<b>事業所管部局による点検・改善</b>											
	項目				評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	本事業は「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」に基づき、感染症に関する高度な知識を身に付けた医療人材を養成するものであり、国民や社会のニーズを反映しているものである。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	本事業は「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」に基づき、感染症に関する高度な知識を身に付けた医療人材を養成するものであり、必要とされる教育機器整備・人材養成を計画的にかつ早急に養成する観点から、国が財政支援を行いながら強力で推進する必要がある。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	本事業は「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」に基づき、感染症に関する高度な知識を身に付けた医療人材を養成するものであり、適切かつ優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	外部有識者の評価を踏まえて選定しており、その妥当性や競争性は確保されている。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。				○	本事業は国が主体となって実施すべき事業であるため、国が負担することが妥当である。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	交付決定・額の確定の際に、交付先から提出される申請書及び実績報告書等に基づいて、支出先・使途を把握し、妥当なコスト水準かを厳正に確認することとしている。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-	-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	交付決定・額の確定の際に、支出先・使途について厳正に確認することで、事業目的に即した真に必要なものに限定する。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				○	教育機器等の納入計画の変更のため事業計画の変更となり繰越を行ったものであり、理由は妥当である。						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	補助金の交付に当たっては、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認を行うなど、効果的、効率的な執行の観点からコスト削減にも努めている。						

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	本事業は「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」に基づき、感染症に関する高度な知識を身に付けた医療人材を養成するものであり実効性の高い事業となっている。成果目標は、事業の主旨である感染症医療人材の養成数としており妥当である。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	補助金の交付に当たっては、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認を行うなど、効果的、効率的な執行の観点からコスト削減にも努めている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当該事業の活動指標は、「感染症医療人材の養成」の成果指標を達成すべく設定した指標となっており、各大学における教育プログラム構築数としている。本教育プログラムを以て感染症医療人材は養成されるため、活動指標として妥当である。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」に基づき、感染症に関する高度な知識を身に付けた医療人材を養成するものであり、適切かつ優先度が高い事業である。支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定することにより、その妥当性や競争性が確保されている。 繰越は教育機器等の納入計画の変更のため事業計画の変更となり実施したものであり、理由として妥当である。	
	改善の方向性	本事業の成果については、実績報告書等により確認するとともに、自大学以外の学生等に対しても教育の対象を広げるなど、事業成果の普及・発信を推進する予定である。	
<b>外部有識者の所見</b>			
外部有識者による点検対象外			
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>			
終了予定	この事業は当初計画通り、令和3年度をもって完了している。 本事業の成果を適切に把握できるよう成果指標を検討すべきである。		
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>			
予定通り	成果指標については、事業の主旨に鑑み感染症医療人材の養成数としているところであり、令和3年度までに当初目標を超える感染症医療人材が養成されている。 採択大学に対しては、周辺地域への波及を含めた事業の継続について、引き続き促してまいりたい。		
<b>備考</b>			
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>			
平成23年度	—		
平成24年度	—		
平成25年度	—		
平成26年度	—		
平成27年度	—		
平成28年度	—		
平成29年度	—		
平成30年度	—		
令和元年度			
令和2年度	文部科学省 新03 0012		
令和3年度	2021 文科 20 0151		

